

「高校生商店街」中心街元気に

宮崎第一高生が販売体験

宮崎市の中心商店街「若草通商店街」で18日、宮崎第一高校の生徒が商品販売などを体験する「高校生商店街」の催しがあった。JR宮崎駅に「ひむかきらめき市場」がオープンして初の日曜日。駅から足を伸ばした家族連れもおり、多くの人でにぎわった。

商店街は宮崎駅から800mほど。宮崎第一高の生徒たちは、アーケードに人気スイーツの店とコラボして作った自慢のプリンやチーズまんじゅうなどを並べ、販売した。子どもと品定めする人もおり、屋前には売り切れる品もあった。将棋部はテーブルに将棋盤を並べ、道行く人と勝負した。対戦を見ていた年配者は「昔はこの商店街でも

夕方になるとぼんこを出して指す姿が見られた」と懐かしそうに話した。生徒有志2人はダンスパフォーマンスを披露した。



ダンスパフォーマンスを披露する生徒

スイーツ人気 ■ ダンスパフォーマンスも



生徒の接客でスイーツを品定めする人たち—いずれも宮崎市の若草通商店街

若い世代に商店街へ目を向けてもらおうと、市商店街振興組合連合会が企画した。

市内の女性(56)は「コロナ

で人が減っていると聞いていたが活気があってびっくりした」。家族3人で茶道部の振る舞う抹茶を味わった宮崎市東大宮の会社員男性(43)は「ひむかきらめき市場へ行って、ここまで歩いて来ました」。接客していた茶道部1年の佐川涼さん(16)も「おしゃれなお店が多くて、次は友だちと歩いてまわりたい」と目を輝かせた。

「若い人は元気を持ってきてくれる」。高校生商店街事業の実行委員長で市商店街振興組合連合会の日高耕平専務理事は高校生の活躍に目を細める。11月のアミュプラザみやざきのグラウンドオープンに向け、「多くの人に目を向けてもらいたい大型店から商店街、周辺の店へと人の流れが生まれてほしい」と話した。

(矢嶋秀樹)